

7月 あなたにとって「信仰の軸」は何ですか？

先月はあなたにとって「福音」とは何ですか？ がテーマでした。今月は「信仰の軸」を考えます。「信仰の軸」とは、「この言葉に戻ると力が出る・勇気をもらえる」「信徒の道筋が見えてくる」、このような信仰の起爆剤になっているものです。

わたしにとってはロザリオです。中でも2つの奥義がわたしの信仰を支え続けています。今回はその2つの奥義を考えます。

喜びの奥義の第1の奥義-お告げ（ルカ1：26～38）

マリアは大天使ガブリエルの受胎告知に「わたしは主のはしため、おことばのとおりになりますように」と答え、聖霊によって御子受肉の神秘の実現を見る。この1連をささげて、神に対する信頼の心を強めていただくように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

大天使ガブリエルのお告げにマリア様はギリシア語でディエタクティエという言葉で反応されます。「何のことかと考え込んだ」（新共同訳）と訳されていますが、深い動揺を表します。同じ動詞が東の国から博士たちがやってきたのと知ったときヘロデが狼狽したときにも使われています。

（マタイ2：3） うろたえたヘロデはベツレヘムとその周辺一帯の2歳以下の男の子を皆殺しにしてしまいます。マリア様にとって、ガブリエルからのお告げはただの嬉しい知らせではなく、人生を左右する脅威でもありました。けれども、一瞬動揺しましたが「なりますように」とお告げをすぐに受け入れます。この言葉は原文のギリシア語では希求法で書かれていて「是非そうなりますように」というニュアンスがあります。決して、嫌々受け入れるものではありません。動揺ののちに、喜んで自分を神様に差し出します。マリア様の態度が救いの新しい世界を開いていきます。このことを思うと、この奥義は人類の救いの幕開けになってとても大切な場面だし、ゾクゾクとしてきます。このゾクゾク感がわたしを刺激し続けてくれます。「12年も務めたキャリアを捨てて、修道会に入ることなどできるだろうか？」という不安がずっとありました（特に入会前の1999年）が「わたしは主のはしため、おことばのとおりになりますように」と唱え続けることでここまできています。司祭に叙階された後も、この奥義からいくつもの恵みをいただいています。

- ・保身にならない。
- ・マンネリにならない。
- ・次のおことばが待ち受けている期待感を持つ。
- ・神様のドラマに巻き込まれていくダイナミックさを維持する。
- ・「I am ready for ○○する準備ができています」という態度でいる
- ・間髪入れずに、とっさに動ける機敏さ。

この奥義は、私の信仰を支え導き続けています。

第2の奥義—ご訪問— (ルカ 1:39~47)

マリアは大天使から、親戚のエリザベトが神の恵みによって子を宿したことを知り、ユダの山地にエリザベトを訪問する。

この一連をささげて、自分のことよりも、いつもよろこんで他人に奉仕する愛の心を深めることができるように、聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

エリザベトを訪問するマリア様の心中は不安に満ちています。ガブリエルからのお告げを受け入れはしましたが、問題が多過ぎます。夫ヨセフは受け入れてくれるだろうか？ もし拒絶されたら自分は石殺しになってしまうかもしれない？ 家族を含め周囲はどのような反応をするだろうか？ このような不安がマリア様の心中にあったはずですが、深い葛藤を抱えながら、それでもマリア様は4~5日かけて100キロも離れたエリザベトを訪問します。文字通り「無私心」です。そしてこの「無私心」がマリア様の不安だった局面を打開し、エリザベトとの霊的対話、「マリアの賛歌」が生まれます (ルカ 1:39~56)。わたしは、こんなマリア様の行動に憧れます。惜しげもなく人を奉仕する生き方に倣えたら、と憧れます。

2つの奥義を深く味わえるのは2週間に1度、約1時間の山口での献血に行く車中です。サラリーマンの時は、自分からする祈りといえば移動する車中しかありませんでした。仕事(社会との接点)とマリア様の奉仕の心(筋ジストロフィーの方の入浴介助)をどのように実践したらいいのか？ 問いながら唱えた時間がわたしの「信仰の軸」になっているし、今もそうになっています。忙しかったわたしには、知識を学ぶことよりもマリア様からヒントを得ていました。そんなスタンスが形づくられていきました。

今の社会の風潮は、「誰かがやっているから」の二番煎じ、三番煎じが多くなっているように思います。それは、自分であまり考えなくていい、周りもしているから一定の評価が得られる、というリスク回避、もあると思います。けれども、マリア様の第1の奥義、第2の奥義には、そのような感覚はありません。自らの危険を顧みずに喜んで自分を差し出す、それも一瞬の躊躇があっても・・・嫌々ではなく自ら望んで・・・。このような態度が、自分を刷新してくれるし、周りにも爽やかさと品の良さ、そして大胆さが伝わるのではないのでしょうか？

自分の信仰を育て、これからも発展させてくれるもの「信仰の軸」をシンプルに見つめ直してみましよう。

振り返りの質問

Q.あなたにとって「信仰の軸」になっているものは何でしょうか？

Q. その「信仰の軸」からどのような恵みを受け続けているのでしょうか？